

「中江藤樹」先生の通称にちなみ、「よえもん道場」という体験活動を中心にした小学4～6年生対象の行事を行っています。今年も、スタッフとして中学生が活動に参加しています。

第1回 5月31日(土)
大谷山登山
残念ながら悪天候で中止

第2回 7月12日(土)～13日(日)
もくもくの里キャンプ

もくもくの里で「大山キャンプ」の練習をしました。

第3回 7月25日(金)
愛媛県大洲市児童と交流

第4回 8月6日(水)～8月9日(土)
大山キャンプ (鳥取県大山青年の家)
3泊4日で大山キャンプに行きました。参加者全員が大山の頂上まで登ることができました。また、藤樹先生が過ごされた米子市も見学しました。


第5回 8月26日(火)
今までのふりかえりと大山キャンプのまとめとお世話になった方々に寄せ書きをつくりました。

第6回 9月27日(日)
朽木のてんぐクラブの子どもたちと一緒に、「森の水族館」をつくりました。

第7回 10月19日(日)
青少年育成大会で活動報告とブースを運営しました。

第8回 12月13日(土)
よえもん道場の修了式を行い修了記念として、ソーラーランタンを作りました。

題字「まなざし」について
「まなざし」は、中江藤樹先生の「五事を正す」の「視」からいただいている。「五事(ごじ)」とは、「貌(ぼう)」「言(げん)」「視(し)」「聴(ちょう)」「思(し)」を言う。普段の生活やまわりの人々との交わりの中で、自ら五事を正すことが良知をみがき、良知に致る大切な道であると説いている。

2026年3月 第45号
発行：高島市青少年育成市民会議
編集：広報啓発部会
事務局：高島市教育委員会事務局
社会教育課地域教育連携室内
Tel：25-8565

たくましく 伸びよう 伸ばそう 高島の子

まなざし

2026
3月号
No.45

発行：高島市青少年育成市民会議
(高島市教育委員会事務局社会教育課地域教育連携室)

会長挨拶 高島市青少年育成市民会議 会長 杉嶋 郁夫

平素は、高島市青少年育成市民会議の事業に格別のご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
さて、今年度もよえもん道場、ワイワイキッズ、ニセコ町訪問、大洲市の子どもたちとの交流会など、計画した体験事業は参加した多くの子どもたちのおかげで、予定どおりに無事に開催することができました。
また、昨年度に引き続き、青少年育成大会は、たかしま子どもフェスティバルとの合同開催とし、実行委員のみなさまのご協力のもと盛大に開催することができました。
子ども若者の健全育成事業の重要性を深く認識して、今後もより良い体験・交流事業になるよう、美しい高島の良さを活かした活動を展開していきます。
日頃から、地域のみなさまには声かけやあいさつ運動などをお願いしておりますが、今一度、地域の子どもは地域で守り、育てるという理念のもと、地域での貢献活動として、高島の宝である子どもを見守っていきましょう。
今後とも、関係各所、協力団体のみなさまの、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

青少年育成大会 10月19日(日)

今年も、子どもフェスティバルと合同で開催しました。約1600名が参加され、とても盛大に開催できました。中学生広場では、各中学校の代表生徒が作文発表をしました。とてもしっかりとした発表で、小学生を含む多くの人々が話に引き込まれていました。



中学生広場(作文発表)

高島市立マキノ中学校	3年	落川 温心	決断するために
高島市立今津中学校	2年	森 健二郎	次に繋げる
高島市立朽木中学校	2年	中川 瑠花	私の一年間
高島市立安曇川中学校	1年	講殿 菜那	一步踏み出す勇氣
高島市立高島中学校	3年	唐崎 天晴	音楽を考える
高島市立湖西中学校	3年	廣田 華瑩	新しい夢

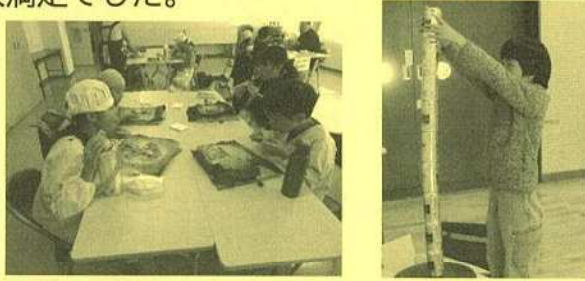


よえもん道場活動報告
今年は、自分たちで様々な活動を考え、話し合い、必要な準備をして最後までやりとげることを大切にして取り組んできました。特に、8月に開催した鳥取県大山での活動については、参加した全員が、みんなで励ましあいながら、標高1709mの大山山頂まで登ることができました。
5月からのよえもん道場の活動をまとめ、報告をしました。

学区民会議の取組

各学区民会議では、地域の特色を活かし、創意・工夫を凝らした取組を進めています。

マキノ マキノ青少年育成学区民会議は『マキノっ子体験塾』を開催しました。募集定員を超える参加者があり、遊び体験とドラム缶ピザ作りをしました。学区民会議委員の皆さん、ボランティアの方のアドバイスを受けながら、取り組みました。焼きあがったピザをおいしく食べて大満足でした。



朽木 小学生を対象に体験活動『てんぐクラブ』を年間7回行いました。琵琶湖博物館や高島北部消防署の見学、しめ縄づくり、よえもん道場の子どもたちと一緒に「森の水族館」づくり等、毎回異なる体験交流活動を行いました。また、「家族ふれあいポスター・三行詩」では、77点の応募をいただき、委員の審査と表彰及び入賞作品の展示を行いました。



今津 たかしま災害支援ボランティアネットワーク「なまず」の皆さんを講師に招き、防災について学びました。低学年児童向けの「防災紙芝居とクイズ」、「自分で作るキューブで防災」、「対戦ゲームで覚える防災」の3つの体験型のメニューを用意していただき、楽しみながら防災意識の向上を図ることが出来ました。



高島 「いろんなことを自分たちの力でやってみよう。」をテーマに、毎年『高島キッズチャレンジデー』を実施しています。今年度は、「世界に一つだけの風鈴を作ろう」と題し、ペットボトルを使って、オリジナルの風鈴づくりに挑戦しました。作品の一部は、高島住民福祉ネットワークが運営されているお休み処「まちあかり」に寄贈しました。



安曇川 夏休み中、町内の保育園・こども園において『保育ボランティア事業』を行っています。小学5年生から高校生までの子どもたちが、園児と一緒に遊んだり、先生方のお手伝いをしたりします。園の先生からも「こどもたちは毎年お兄ちゃん、お姉ちゃんが来てくれるのをとても楽しみにしています」とのお声をいただいています。



新旭 毎年、春と秋の2回、新旭養護学校高等部の生徒と合同で駅前花壇の整備・花苗の植替えを行っています。今年の秋は、あいにくの天候で中止となったので、生徒さんから花苗を贈呈していただき、一緒に会話を楽しみながら、ポットの花苗をプランターに移植する作業をお手伝いしました。いただいた花苗は、後日に委員で駅前花壇に丁寧に移植しました。



たかしまワイワイキッズ

9月20日(土) (もくもくの里)

市内の小学校1~3年生の40名が参加しました。今津の吹田市立もくもくの里で自然観察などの体験や木のコマを作って遊びました。また、班ごとにカレーを作って食べました。参加した子どもたちはとても元気に楽しく過ごすことができました。



みんなで記念写真

大洲市交流事業

7月25日(金) (青柳小学校)

大洲市の児童18名とよえもん道場のメンバー14名で交流を深めました。藤樹かるたや新聞ジグソーパズルなどで楽しい時間を過ごせました。大洲市のこともたくさん教えていただいて、若い頃の藤樹先生のイメージがわいてきました。

(第3回よえもん道場)



ニセコ青少年交流体験事業

7月27日(日)~31日(木) (北海道ニセコ町)

今年は、ニセコ町との交流事業に、中学生スタッフを含む15名が参加しました。フェリーで北海道ニセコ町に向かいました。ニセコ町の参加者20名とパークゴルフやバーベキューで交流を深めました。帰途で立ち寄ったエスコフィールドや大倉山ジャンプ競技場なども見学しました。とても有意義なニセコ交流事業となりました。



市民会議各部会の取組み

地域環境部会

- ・スマートフォンの販売時におけるフィルタリング設定の徹底依頼
- ・小学生の登下校時間を中心としたパトロール

・広報「まなざし」の発行

広報啓発部会



- ・青少年育成大会の企画・運営
- ・「よえもん道場」「ワイワイキッズ」などの、体験活動やリーダー育成事業

青少年・家庭部会

